

総合殺菌剤

石原

フロンサイド[®] SC (フロアブル)

®は登録商標

農林水産省登録 第18750号

幅広い抗菌スペクトラムで作物を守る



はくさい
軟腐病



キャベツ
菌核病



レタス
すそ枯病



たまねぎ
灰色かび病

■特長

- 1) 広範の病害にすぐれた効果
- 2) 耐性菌にも有効
- 3) 残効性・耐雨性にすぐれ、高い予防効果
- 4) 植物病原菌の各感染過程を阻害
- 5) 天敵・有用生物に対する高い安全性



ホクサン株式会社

■適用病害と使用方法(一部抜粋)

作物名	適用病害名	10アール当り使用量(ℓ)		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農業の総使用回数
		希釈倍数(倍)	使用量(ℓ)				
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病 なまぐさ黒穂病	1,000	60 ~ 150	根雪前	2回以内	散布	3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)
	雪腐小粒菌核病	1,000 ~ 2,000	25				
ばれいしょ	疫病	500	100 ~ 300	収穫7日前まで	4回以内	散布	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和および 植付時の植溝散布は 合計1回以内、 植付後の散布は4回以内)
	菌核病	1,000 ~ 2,000					
	夏疫病	2,000					
	そうか病	100					
やまのいも	葉渋病	2,000	—	植付前	1回	種いも瞬間浸漬	5回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、 植付後の散布は4回以内)
あずき	炭疽病 灰色かび病	1,000 ~ 2,000	100 ~ 300	収穫21日前まで	4回以内	散布	3回以内
	菌核病	1,000					
いんげんまめ	炭疽病 灰色かび病	1,000 ~ 2,000	100 ~ 300	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
	菌核病	1,000					
べにばないんげん	灰色かび病	1,000	—	収穫14日前まで	—	—	—
ごぼう	黒条病	—	—	収穫21日前まで	—	—	—
たまねぎ	乾腐病	50	—	定植直前	1回	5分間苗根部浸漬	—
	灰色腐敗病 べと病	1,000 ~ 2,000	100 ~ 300	収穫3日前まで	5回以内	散布	7回以内 (全面土壌混和は1回以内、 苗根部浸漬は1回以内、 散布は5回以内)
	灰色かび病	250 ~ 500	25				
	白色疫病	1,000	—	—	—	—	—
てんさい	褐斑病	1,000	100 ~ 300	収穫30日前まで	4回以内	散布	5回以内 (は種前の土壌混和および 苗床灌注は合計1回以内、 株元散布および散布は 合計4回以内)
	根腐病	1,000 ~ 2,000				株元散布	
	黒根病	100				3ℓ/m ²	
いちご	炭疽病	1,000	50ml/株	育苗期	—	灌注	1回
	葉枯病	100 ~ 300	—	収穫14日前まで	6回以内	散布	8回以内 (球根瞬間浸漬は2回以内、 散布は6回以内)
食用ゆり	鱗茎さび症	50	—	植付前	2回以内	球根瞬間浸漬	—
	アスパラガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病	2,000	100 ~ 300	収穫終了後 但し、秋期まで	5回以内	散布
ゆり	茎腐症 (リゾプス菌による)	500	3ℓ/m ²	定植後	2回以内	土壌灌注	3回以内

⚠ 使用上の注意事項 (一部抜粋)



- 使用直前に容器をよく振ってください。
- 本剤は保護効果主体の薬剤であり、病原菌に感染した後の散布では効果が不十分な場合があるので散布時期に注意してください。
- いちごに使用する場合、新葉に葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
- きゅうり、レタス等には葉害を生じるおそれがあるので、周辺にそれらの作物がある場合にはかからないように注意してください。
- 全面散布土壌混和で使用する場合、所定量の薬量を均一に散布し、土壌と十分混和してください。降雨直後の処理は、混和むらの原因となるのでさけてください。
- 根こぶ病対象に本剤を多量に使用すると初期生育が抑制される場合があるので、適用薬量の範囲で使用してください。
- 小麦、ばれいしょ、たまねぎに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 全面土壌散布で使用する場合は、畦上で作業後に所定量の薬量を均一に散布してください。
- キャベツ、はくさい、レタスおよび非結球レタスの全面土壌散布では、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後回復し、作物の生育、収量に影響はありません。(定植後の多雨または過度の灌水条件下で発生しやすい)
- だいこんに使用する場合は、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後の生育には影響しません。
- 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。

- 本剤は皮膚感作性があり、皮膚かぶれ等を起こすことがあるので、使用前にはラベルをよく読んでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤は眼および皮膚に対して刺激性があるので薬剤が眼に入った時、皮膚に付着しないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。

魚毒性等・・・水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。

ラベルをよく読んでください
適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

本印刷物は2021年9月時点での知見に基づいて作成しています。



紅色雪腐病



雪腐大粒菌核病



雪腐黒色小粒菌核病



雪腐褐色小粒菌核病



褐色雪腐病

小麦の雪腐病殺菌剤



シルバキュア[®]フロアブル

シルバキュアはバイエルグループの商標登録です

フロンサイド[®] SC

フロンサイドは石原産業の商標登録です

ランマン[®]フロアブル

ランマンは石原産業の商標登録です

各種、雪腐病の防除に！！



ホクサン株式会社

適用病害と使用方法(抜粋)

※平成29年8月現在

■ シルバキュアフロアブル

作物	適用病害	使用量		使用時期	総使用回数		使用方法
		希釈倍数	10アール当り 散布水量		本剤	テブコナゾール剤	
小麦	雪腐小粒菌核病	1,000~2,000	60~150ℓ	根雪前	1回	3回以内 (根雪前は1回以内、 融雪後は2回以内)	散布 無人ヘリコプター による散布
		500	25ℓ				
		16	0.8ℓ				

■ フロンサイドSC

作物	適用病害	使用量		使用時期	総使用回数		使用方法
		希釈倍数	10アール当り 散布水量		本剤	フルアジナム剤	
小麦	雪腐大粒菌核病 紅色雪腐病	1,000	60~150ℓ	根雪前	2回以内	3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)	散布
		1,000~2,000					
	250	25ℓ					
	雪腐小粒菌核病						

■ ランマンフロアブル

作物	適用病害	使用量		使用時期	総使用回数		使用方法
		希釈倍数	10アール当り 散布水量		本剤	シアゾファミド剤	
小麦	褐色雪腐病	1,000	100ℓ	根雪前	3回以内	3回以内	散布 無人ヘリコプター による散布
		250	25ℓ				
		8	0.8ℓ				

小麦雪腐病殺菌剤 混用事例

混用順序		使用方法	混用可否
①	②		
フロンサイドSC (1,000倍)	ランマンフロアブル (1,000倍)	地上散布 ピークル(少量散布) 無人ヘリコプター	混用可
ランマンフロアブル (1,000倍)	フロンサイドSC (1,000倍)		
シルバキュアフロアブル (2,000倍)	ランマンフロアブル (1,000倍)		
シルバキュアフロアブル (500倍)	ランマンフロアブル (250倍)		
シルバキュアフロアブル (16倍)	ランマンフロアブル (8倍)		

※この混用事例は、農業の現地混用に関する物理化学性の試験例・事例を参考として紹介するものであって、混用を薦めるものではなく、また結果を保証するものではありません。
※展着剤(グラミンS、まくびか)は薬液調製前に加用して下さい。

秋播小麦・雪腐病対策【残効性の評価と防除時期の考え方(北海道、平成26年普及推進事項より)】

防除時期の考え方	<p>本剤は残効性に優れるため、根雪直前散布の必要はなく、より早期に防除を行うことができます。</p> <p>防除時期の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小雪地帯: 過去の最も早い根雪始の時期を参考にする ● 多雪地帯: 各地域・圃場でスプレーヤによる防除が可能な時期 									
対象病害	雪腐黒色小粒菌核病			雪腐褐色小粒菌核病			雪腐大粒菌核病		褐色雪腐病	
薬剤名	フロンサイド SC	シルバキュアフロアブル	A剤	フロンサイド SC	シルバキュアフロアブル	A剤	フロンサイド SC	B剤	ランマンフロアブル	
希釈倍数(倍)	1,000	2,000	500	1,000	2,000	500	1,000	2,000	1,000	
残効の目安 (散布から根雪 までの降水量)	積算 降水量	120mm	100mm	40mm	150mm	85mm	25mm	120mm	80mm	150mm
	日最大 降水量	65mm	40mm	15mm	—	—	—	65mm	40mm	—
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ● 気象条件や圃場条件、散布機械の運用面など散布可否に関わる条件を優先して確実に散布を行う。 ● 輪作、適期は種や融雪剤散布など、耕種的な対策を行う。 ● 紅色雪腐病防除のための種子消毒を行う。 ● 本試験は散布水量100ℓ/10aで実施。 									